

12月5日（木）

ビジネスパートナー都市（BPC）ラウンドテーブル会議

大阪市は、アジア太平洋地域の主要都市との経済交流を民間レベルで促進するためにビジネスパートナー都市（BPC）提携を行っている。BPCの年1回の会議では、ネットワークの強化と交流促進を図るため、各都市が一堂に集まり、テーマに沿った発表や意見交換を行うとともに、ミッション派遣やセミナー、商談会などを実施し、具体的な経済交流を行っている。

12月5日に上海蘇河湾中心で開催された「ヘルスケアビジネスの促進に関する取り組み」をテーマとするBPCラウンドテーブル会議に参加した。



会議の様子

【横山市長挨拶要旨】

大阪市と上海市は1974年に友好都市提携を結んだ。両市は強い友情に基づき、ビジネス、文化、教育、スポーツなど幅広い分野で有意義な交流を行ってきた。この友好都市提携50周年にあたり、上海市と静安区がラウンドテーブルの開催に協力してくださったことに心から感謝する。

今年のテーマは、「ヘルスケアビジネスの促進に関する取り組み」についてである。本日の会議が、BPCメンバーにとって素晴らしい情報交換のプラットフォームとなり、詳細なプレゼンテーションや率直に意見交換のできる場となることを期待する。

来年4月には、大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催され、中国パビリオンや他の国々・企業などの素晴らしいパビリオン設置に向けた努力が実を結ぶ予定である。BPCメンバーが来年日本を訪れ、新しい体験をすることを願っている。

【竹下議長挨拶要旨】

本日はビジネスパートナー都市ラウンドテーブルの会議に参加し、こうして皆さんと交流を深める機会を得られたことをとても嬉しく思う。この会議の開催に尽力してくださったすべての関係者の皆さんに、大阪市会を代表してお礼を申し上げる。大阪市と上海市はこれまで緊密に交流してきたが、今後もさらに交流を深め、それぞれの得意分野を活かして、より良い関係を築いていきたいと考えている。また、横山市長のプレゼンテーションを通じて、大阪の経済的な魅力を感じてもらえることを期待している。

さて、来年には大阪・関西万博が開催される。この機会にぜひ大阪に来て、活力あふれる姿を直接見てほしい。大阪で再びお会いできることを楽しみにしている。

最後になったが、BPC ラウンドテーブル会議が大成功を収めるとともに、上海市のさらなる発展と、関係者の皆様のご健康とご活躍を心からお祈りし、私の挨拶とする。



挨拶をする竹下議長

【横山市長プレゼンテーション要旨】

本日は、大阪のビジネス環境、ヘルスケアビジネスの取り組み、そして2025年に開催される大阪・関西万博に向けた準備について詳しく紹介する。

まず、大阪のビジネスポテンシャルについて説明する。大阪は航空、鉄道、道路の交通ネットワークが非常に充実しており、関西国際空港を通じて世界各地、特にアジアへのアクセスが容易である。例えば、上海市とは直通便で約2～3時間で行き来できるため、ビジネス交流が盛んである。大阪は古くから日本の経済・文化・観光の中心地として栄えており、多くの外国人観光客が訪れている。

大阪を中心とする関西経済圏のGRP（域内総生産）は、オランダ1国に匹敵する規模であり、大阪市単体でもポルトガル1国に相当する経済活動を展開している。この地域の強みの一つは、世界的に著名な大企業が多く集積していることである。さらに、大阪を含む関西は、起業家の才能とエネルギーがある地域で、多くの優れた大学、研究機関、産業振興機関が立地している。このような産学官ネットワークの充実により、大阪は日本でビジネスがしやすい都市として知られている。イギリスの経済誌「エコノミスト」が発表した「世界で最も住みやすい都市ランキング」では、大阪が9位にランクインしており、アジア圏で唯一トップ10入りしている。

次に、大阪のヘルスケアビジネスの取り組みについて説明する。大阪には健康、医療、介護などのヘルスケアビジネスに関連する企業が多く立地している。さらに、大阪を含む関西には大学や研究機関が集積しており、様々な研究開発が進められている。これらの環境から生まれる新技術を社会実装するため、大阪市では大阪産業技術研究所を設置し、民間企業の研究開発や製品化を支援している。また、大阪イノベーションハブを設置し、新たな事業の

創出やスケールアップにつながるイベントを開催することで、ビジネスコミュニティの形成や事業化を支援している。こうした取り組みを通じて、健康寿命の延伸などヘルスケア関連の課題解決につながる技術革新や新技術の社会実装を実現している。

大阪市では大規模な開発が進んでおり、新しいスポットが次々に誕生している。2024年には、医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が集積した未来医療の産業化拠点「Nakanoshima Qross（中之島クロス）」が、また、大阪駅前では、約8ヘクタールの広大な「みどり」とイノベーション創出を目指す中核機能施設「JAM BASE」を有する「グラングリーン大阪」が開業した。グラングリーン大阪には、メルボルンから進出した医療・ヘルスケア分野専門の非営利アクセラレータ、Medtech Actuator（メドテック アクチュエータ）が拠点を設立し、イノベーション創出を促進している。

最後に、2025年の大阪・関西万博についてである。この万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日から10月13日まで開催される。160以上の国と地域、国際機関が参加を表明しており、期間中には350万人のインバウンドを含む、2,800万人以上の来場が見込まれている。象徴的な建築物「大屋根リング」は世界最大級の木造建築物として注目されている。地元大阪が出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、子どもから大人まで楽しめる体験を用意している。心血管などの健康データをカラダ測定ポッドで取得し、その結果を基に生成された25年後の「ミライの自分」の-avatar-を見ることことができる。取得された健康データは蓄積・解析され、先進医療の研究に活用されることが期待されている。また、「リボーンチャレンジ」を通じて優れた大阪の中小企業・スタートアップを発掘・支援し、その技術や製品を発信している。441社の魅力ある大阪企業の展示が週替わりで行われるので、ぜひ注目してほしい。

このように、大阪は「Economy」「Environment」「EXPO」という3つのEを通じて、ビジネスチャンスを広げていく。来年のBPCラウンドテーブルは9月に大阪で開催する予定である。大阪で会えることを楽しみにしている。



記念撮影の様子



横山市長プレゼンテーションの様子

自動運転車両視察（COWA ROBOT）

上海市の嘉定区にある COWA ROBOT の上海研究開発センターで自動運転車両の視察を行った。COWA ROBOT は、高レベル(L4)自動運転のフルスタックソリューションを提供し、スマートシティサービスを展開する世界有数の事業者である。中国における高レベル（L4）自動運転商用車分野のトップ企業であり、4つの主要ブランドを持ち、車両台数や商業化の実現規模、データ量において業界をリードしている。

COWA ROBOT は、中国における自動運転サービス事業者として、20以上の主要都市で自動運転サービスを実施してきた。現在、高レベル自動運転車両の台数はすでに1,000台以上に達し、自動運転技術の研究開発に信頼性のあるデータを提供している。

高レベル自動運転専用車両の開発と製造、フルスタック自動運転アルゴリズム開発とシステム構築、そしてインテリジェントコネクテッドビークルを基盤とする高級都市運営サービスの三つの能力を持ち、環境衛生、都市配送物流、自動運転タクシー（Robotaxi）、自動運転バス（Robobus）の4つの分野で商業化に成功している。

現地では、自動運転車両を管理するコントロールセンターを視察し、実際に自動運転車両に乗り込んで公道を走行する体験も行った。体験走行では、時速50km程度で走行し、交差点に接近すると自転車や歩行者を感知して停止し、自転車や歩行者の通過後に再発進する動作は、人による運転と比べて遜色のないスムーズな乗り心地であった。

上海市人民代表大会親善訪問

上海市人民政府庁舎にて、上海市人民代表大会への親善訪問を行った。

親善訪問の前には上海市人民政府庁舎内にある展示施設を視察し、上海市の概況について説明を受けた。

親善訪問では、上海市人民代表大会常務委員会の黄莉新主任と大阪市会の竹下議長がそれぞれ挨拶を行い、意見交換を行った。



展示施設視察の様子



意見交換の様子

【黄莉新主任挨拶要旨】

上海市はかつて習近平主席が勤務した都市である。昨日、皆様は上海市の市長とも会見したと伺っている。

習近平主席が上海市のトップであった時、上海市の特長を「開放」「イノベーション」「包容」の三つの言葉でまとめた。

まずは「開放」で、これは上海市の最大の強みとなっている。中央から与えられた任務を果たすために、高い水準の開放型プラットフォームを構築し、制度改革を進めてきた。上海市の輸出輸入総額は10兆人民元に達し、都市別では世界1位である。これは世界全体の輸出入総額の約3.6%を占めている。上海港の取り扱うコンテナの量は、昨年4,916万TEUであり、14年連続で世界1位を保っている。

次に「イノベーション」。これは上海市の発展の原動力である。上海市のR&D企業のGDPにおける割合は4.4%に上り、一方で教育都市としても知られている。上海市には69校の大学があり、各種の人材は約675万人いる。上海市・蘇州地域の科学技術クラスターは、世界知的所有権機関（WIPO）の統計で世界5位に位置している。

最後に「包容」。上海市は各地の長所を取り入れ、東洋と西洋の文化を融合させている都市である。上海市の人口は約2,500万人で、そのうち1,000万人は他地域からの移住者である。中国で外国人が最も多く住む都市でもあり、文化的イベントも多く開催されている。

この「開放」「イノベーション」「包容」は上海市の発展の活力を保つ原動力である。上海市は国際的な経済、金融、貿易、海運、科学技術のイノベーションセンターの構築を目指しており、さらなる国際協力を広げていく必要がある。上海市と大阪市の協力が明るい未来を提供してくれると信じている。

上海市と大阪市は1974年に友好都市提携を結び、今年で50周年を迎える。長年にわたり双方の政府と市民の協力のもと、多くの協力プロジェクトを繰り広げ、共通課題に挑戦してきた。両市は経済の中心都市であり、共通の課題として少子高齢化などにも取り組んでいる。

上海市人民代表大会と大阪市会との友好都市提携は50年の歴史を持つ。経済、貿易、産業、科学技術、金融、文化などの分野で実質的な交流を進めていきたい。来年の大阪・関西万博をきっかけに、都市ガバナンスやデジタル経済、環境に優しい経済についても学び合い、両市の市民に幸福をもたらしたいと考えている。

【竹下議長挨拶要旨】

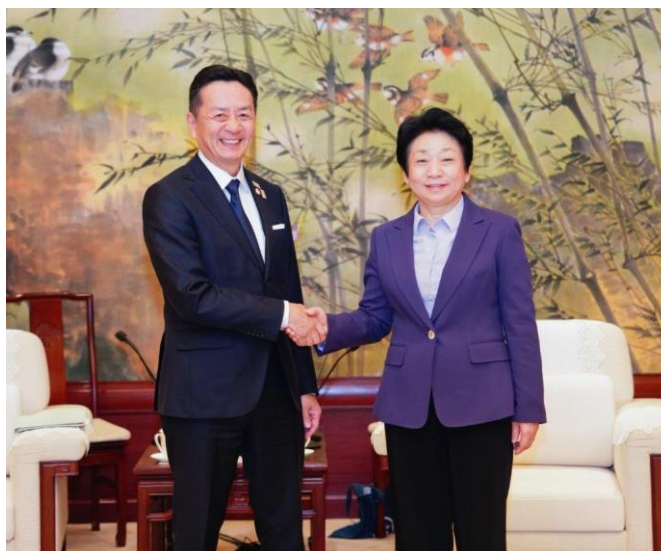
このたび大阪市会を代表して上海市人民代表大会を訪問できたことを大変光栄に思う。また、皆様と交流を深めることができ大変嬉しく思う。

大阪市と上海市は、学術交流や技術交流を通じて多くの分野で関係を深めてきた。50周年を迎えられたのも上海市人民代表大会の皆様と市民のご尽力の賜物であり、心から感謝している。上海市は文化や歴史において、大阪市と似た環境を持っている。大阪市は商都として発展し、経済と金融が栄えてきた。近年、東京に後れを取っているが、大阪市を金融都市と

して再生しようとしている。

上海市と同様に、大阪市でも少子高齢化が進んでいる。大阪市に人と資本を集めるために、様々な施策を講じている。特に、子どもたちの教育に力を入れ、収入格差によらない教育体制を構築している。学費の無償化を進め、子どもたちが学びを伸ばせる環境を作っている。

来年は大阪・関西万博が開催される。ぜひ大阪にお越しいただき、その活力を感じてほしい。



上海市人民代表大会常務委員会の黄莉新主任と竹下議長

8号橋視察

8号橋は、中国近代工業の発祥地と言われる上海市黄浦区に位置しており、古い工場や市場を改装してクリエイターが集まるエリアとして1期から5期に分けて再開発されたエリアである。「8号橋」という名称は、1期プロジェクトが建国路8号にオープンし、建物や人をつなぐ橋を目指して設立されたことに由来する。このエリアは都市の未来と歴史をつなぐ良い手本であり、歴史的建造物を保存しつつ新しい設計を用いて、流行やアイデアを取り入れながら、現存する古い工場を現代建物や都市の新しい景観と融合させて再構築している。

敷地面積は46,100㎡、延べ床面積は約95,000㎡を超え、およそ200社の企業と5,000名以上のクリエイターが入居している。1期プロジェクトは2004年にオープンし、最も新しい5期は2021年にオープンした。

8号橋は単なる産業パークではなく、イベントスペースやインキュベーションの機能も備えている。イベントスペースではクリエイターや企業をつなぐイベントを実施し、香港や欧米のクリエイターとの交流も行っている。

現地では、8号橋で事業を展開しているLKK社を視察した後、周可 金地商置園區総経理をはじめ、担当者の方々と意見交換を行った。



8号橋視察の様子

【金地商置園区総経理 周可氏挨拶要旨】

クリエイティブ分野の才能がコミュニケーションの架け橋を築く。今年は上海市と大阪市友好都市提携 50 周年の節目の年である。この場で皆様と話す機会を得られたことを光栄に思う。日本には奥深い豊かな文化があり、経験を通じてお互いの理解を深められるようコミュニケーションの機会を持ちたい。

【横山市長挨拶要旨】

本日は素晴らしい施設を見せていただき、心から感謝している。大阪市もイノベーションを促進し、若い人材の力をつけたいと考えている。アートやクリエイティブな空間を作ることによってイノベーションが生まれるという考えのもと、多くの取り組みを進めている。この8号橋は非常に素晴らしい施設だと改めて感じた。

大阪市は工業のまちとして発展してきたが、より高い次元で展開するために、若いクリエイターと工業のマッチングを進めている。来年の万博に合わせて、「ものづくり万博」としてクリエイターと共にイベントを考えているので、ぜひ大阪市に関心を持ってほしい。これからも皆さんと強いつながりを持てるよう心から祈っている。

【竹下議長挨拶要旨】

8号橋の取り組み、若いクリエイターたちが活躍しているのを目の当たりにし、嬉しく思う。市長が言ったように、大阪市でもクリエイターが活躍できる場を作ろうとしている。私の地元にもクリエイターが集まる場所があり、新しいイノベーションを起こせるように支援したい。

来年、万博への皆さんのご訪問を楽しみにしている。

【意見交換要旨】

〔大阪市〕

カフェがあり、市民が自由に訪れることができる環境は素晴らしい。他の都市でも同じよ

うな施設を見たが、市民がビジネス以外でも訪れることができる場があると活気が出る。大阪市でもこうした施設を参考にし、イノベーションやスタートアップを進めたい。プロジェクトの中で課題やトラブルを乗り越えた成果はあるか。

〔担当者〕

もともとここは工場だった。用途を工業から商業に変更することが一番の課題だったが、上海市政府と江蘇省政府の支援を得て、クリエイターのニーズを聞きながらリニューアルを進めた。リニューアルオープン後は意欲的なクリエイターが多い。

〔大阪市〕

LKK 社のような大きなデザイン企業が入ってくると、他のデザイナーも集まるようだが、理由はあるか。

〔担当者〕

LKK 社は入居当時中小企業だったが、サポートを受けて大企業に成長した。国際的な大企業の入居が他の中小企業を引きつけている。

〔大阪市〕

経営状況として、テナントからの家賃収入で運営しているのか。

〔担当者〕

企業からの管理費で運営し、グループの応援費用に使っている。また、政府からの支援も受けている。

〔大阪市〕

入居を希望するクリエイターは順番待ちしているのか。

〔担当者〕

以前はそうだったが、今はスムーズに運営している。

〔大阪市〕

多様なビジネス展開があるが、LKK 社のようなビジネスモデルの企業が多いのか。

〔担当者〕

実に様々な業界の企業が集まっている。工業デザイン開発を手がけている企業もあれば、創造的なサービスを提供する企業もある。製品を持つ企業が広告やクリエイティブなサービスを必要とする場合などにも連携している。

〔大阪市〕

マッチングイベントは広く行っているのか。

〔担当者〕

企業同士や顧客、行政との交流イベントを行っている。市レベルと地区レベルの支援施策があり、ニーズに合わせて行っている。

〔大阪市〕

大阪市も MEBIC という施設を持ち、マッチングを進めている。8号橋は規模が大きく、取り組みも活発である。機会があれば MEBIC と 8号橋の交流などもぜひお願いしたい。

〔大阪市〕

8号橋は24時間365日営業しているのか。

〔担当者〕

従業員の勤務時間は不規則で、施設は24時間利用できる。

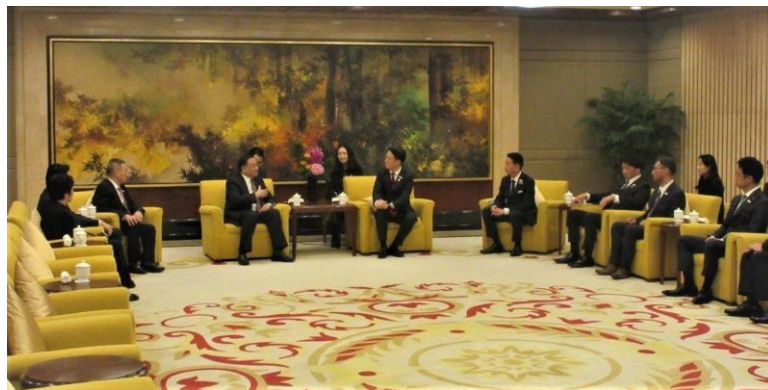


意見交換の様子

大阪市・大阪ビジネスパートナー都市交流協議会共催 ネットワーキングレセプション

ジンジャンホテルで開催された大阪市・大阪ビジネスパートナー都市交流協議会共催のネットワーキングレセプションに参加した。

レセプションの開会に先立ち、上海市華源副市長と懇談を行った。



上海市華源副市長との懇談の様子

レセプションでは、冒頭、横山市長、華源上海市副市長、岡田勝在上海日本国総領事・大使が挨拶を行った。挨拶終了後、華源副市長をはじめ、上海市関係者のほか、BPC ラウンドテーブル会議に参加された皆さん、上海市に滞在する日系企業・団体の方々と率直な意見交換を行い、友好関係強化に向けて交流を行った。閉会にあたり竹下議長が挨拶を行った。

【横山市長挨拶要旨】

本日は、多くの方々にお越しいただき、大阪市・大阪ビジネスパートナー都市交流協議会主催のネットワーキングレセプションを盛大に開催できることを心より嬉しく思う。

大阪市と上海市は今年で友好都市提携 50 周年を迎えた。昨日は上海市長を表敬訪問して意見交換を行い、両市の関係をさらに深化させることができた。そして、本日は自動運転車両などの先進的な取り組み事例の視察や、国際金融関係の意見交換会を通じて、大変有意義な時間を過ごすことができた。また、本日のビジネスパートナー都市ラウンドテーブル会議には各都市から参加があり、ヘルスケアビジネスについての実りある情報交換をすることができた。

いよいよ 4 か月後には大阪・関西万博が開催される。皆様方の来場を心よりお待ちしておりますとともに、この機会にビジネスを始めとする交流がますます活発になるよう取り組んでいく。

【華源上海市副市長挨拶要旨】

本日は、上海大阪友好都市提携 50 周年を祝う交流晚餐会に参加でき、新しい友人、古い友人の皆様と一堂に会し、友情を語り合うことができて大変うれしく思う。

3 週間前、私は代表団を率いて大阪市を訪れ、横山市長をはじめとする大阪市の友人の皆様とお会いできた。そして本日は 3 週間ぶりに市長をはじめとする皆様を上海市でお迎えすることができた。また、市長と議長とも上海市と大阪市の将来に向けて大変いい話ができて、本当に光栄に思う。この 3 週間の間に 2 回もお目にかかれるということは、まさに上海市と大阪市の間の緊密な関係の表れだと理解している。

この場をお借りし、上海市人民政府を代表して、大阪市代表団のご来訪に心から歓迎の意を表する。それとともに、長年にわたり両市の友好交流に大きな力を注いであさった皆様にも、心から厚く御礼を申し上げる。上海市と大阪市は 1974 年に友好都市提携をしてから 50 年が経った。大阪市は上海市にとって二番目の国際友好都市である。大阪市は上海市の良い友人であるだけでなく、上海市の社会発展と都市建設の過程において学び合う良いパートナーでもある。

半世紀にわたり、両市は経済、文化、科学技術、環境保全、都市建設、交通、スポーツなど多くの分野で交流を行ってきた。深い友情の絆が結ばれ、その交流によって両市の市民にも大きな成果をもたらすことができた。これは両市の共通した財産であり、もっと大切にしなければならないと思う。

友好都市提携 50 周年は、上海市と大阪市の友好交流の大切なマイルストーンであり、新しい協力のきっかけになると信じている。昨日、横山市長が上海市長と会見し、両市のこれからの交流について意見を交換した。これからは経済、貿易、都市建設、人的・文化的往来をもっと盛んにすることで意見が一致したとのことである。

特に来年は大阪・関西万博を控えており、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に共鳴している。我々はこれを大変楽しみにしており、積極的に参加したいと思っている。

これからも大阪市と手を携えて未来を展望しながら、さらにこの友好交流をレベルアップし、友好交流のルートをさらに広く深くし、お互いに学び合い、さらに市民のハイレベルな生活を実現したいと思う。また、両市は学び合い、助け合い、共に発展し、さらに輝かしい50年の一ページを書き下ろそうではないか。

横山市長と竹下議長をはじめとする代表団の皆様が上海市で楽しく過ごせますように、上海市訪問が大成功を収めるよう祈念するとともに、ご出席の皆様のますますのご健勝とご発展、そして上海市と大阪市の友好の絆がさらに深まることをお祈りする。おおきに。

【岡田勝在上海日本国総領事・大使挨拶要旨】

このレセプションに参加することができ、大変嬉しく思う。まずは在上海日本国総領事館を代表して、大阪市と上海市の友好都市提携50周年を心からお祝い申し上げる。

これまでもお話があったように、大阪市と上海市は様々な分野で交流を重ねてきた。また、両市の市長、副市長からもお話があったように、来年はいよいよ大阪・関西万博が行われる。この大阪・関西万博を通じて、大阪市と上海市の関係がより一層強化されることを心から願っている。

【竹下議長挨拶要旨】

本日はこのレセプションにお越しいただき、また、上海滞在中に温かく迎えていただき、ご臨席の皆様をはじめ、大阪市・上海市の友好都市提携50周年記念事業の成功にご尽力いただいている関係者の皆様に、大阪市会を代表して御礼を申し上げる。

本日は、大阪市と上海市の友好都市提携50周年を記念するレセプションで、皆様と交流を深めることができ、心より嬉しく思う。大阪市と上海市は、友好都市交流に加え、友好港、ビジネスパートナー都市など、さまざまな形で緊密な関係を構築している。

来年は大阪・関西万博が開催される。この機会にぜひ大阪市にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしてほしい。

最後に、ぜひ皆様が大阪市にお越しいただくことを楽しみにし、上海市と大阪市の交流がより一層深まることを願っている。



挨拶する上海市華源副市長



挨拶する竹下議長

大阪府日中友好協会主催日中平和友好コンサート

上海世博会博物館で開催された「日中平和友好コンサート」に参加した。このコンサートの最後には、横山市長とともに大阪市会代表团も登壇し、大阪・関西万博のプロモーションを行い、より多くの上海の皆様には大阪へお越しいただけるよう呼びかけた。

「日中平和友好コンサート」は、1974年4月に「大阪友好の船」が上海市に到着し、上海市民の大歓迎を受けたことに由来する。この船には女子バレーボールチーム、囲碁棋士、議員、労働団体など、さまざまな分野のメンバーが参加しており、大阪市と上海市の市民交流が始まるきっかけとなった。その出来事から50年が経ち、今年は大阪市と上海市の友好都市提携50周年である。この節目に、これまでの友好関係を基に新たな一步を踏み出すため、「日中平和友好コンサート」が開催された。

コンサートでは、大阪出身の歌手・浅田あつこさん、中国民族管弦楽学会常務理事である柳琴・阮奏者の呉強さん、そして上海音楽学院の若手奏者からなる金豈楽団が共演した。また、次世代の若者が世界に羽ばたくことを応援する目的で、浅田あつこさんは、大阪府立泉尾工業高校ファッション工学科の学生がデザインした舞台衣装を着用して熱唱した。

このコンサートは、2010年上海万博「なにわの日」（7月28日）に大盆踊り大会を企画した作詞家もず唱平氏の発案と支援、大阪市および上海市の民間交流ネットワーク、音楽関係者、日中双方で交流事業を支えてきた有志の皆様の協力により実現した。

【横山市長挨拶要旨】

本日は、大阪府日中友好協会と上海市人民対外友好協会が主催する日中平和友好コンサートに参加し、大阪市と上海市の友好都市提携50周年を多くの皆さんと一緒に祝いできることを心から嬉しく思う。大阪市と上海市は、1974年に友好都市提携を結び、経済や文化をはじめとする様々な分野で密接な交流を続けてきた。

本日の「日中平和友好コンサート」では、大阪出身の浅田あつこさんの歌唱や、中国の伝統楽器の演奏など、日中双方の楽曲による共演が行われ、大阪と上海の方々がお互いの文化に触れる素晴らしい催しとなった。このような文化交流を通じて、両市、そして両国間の相互理解がさらに深まり、日中友好の輪が広がることを期待している。

コンサートの開催に尽力された関係者の皆様に、改めて敬意を表する。そして、いよいよ4か月後には、大阪・関西万博が開催される。この万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、160以上の国と地域、国際機関が参加し、いのちに向き合い、世界が直面する課題を共有しながら、新しい技術やイノベーションを未来に紡いでいく非常に貴重な機会である。本日お越しの皆様にもぜひ大阪市を訪れてほしいと思う。



日中平和友好コンサート登壇の様子